

## 本日、第97回定期大会開催！！

日時：9月4日(金) 13:00～17:00

場所：村松コミュニティセンター 2階会議室

(東海村 機構本部向かい)

### ～ 分会討議、各支部大会の意見から～

#### 【情勢について】

- ・民主党が選挙に勝ったら、原子力機構の所管が経済産業省になるという話が一部のマスコミに載ったが本当か。
- ・民主党政権が誕生することになったが、すでに閣議決定された2009年度人事院勧告の一時金0.35月からさらに引き下げられることはあるのか？
- ・政権が代わって色々あれば、あゆみや中央委員会で知らせたい。那珂は解体に入っている。予算を減らすだけでなく、大きな影響があると思う。不安になるので知らせたい。
- ・公務員の給料について、民主党は労使間で決めると言っていたのでは。

#### 【賃金・労働条件について】

- ・ここ5～6年はベースアップなどなく給与が全然上がっていない。一時金引き下げなどで収入は減る一方であり住宅ローンなども抱えているため生活が大変だ。
- ・研究員・技術員の認定状況を詳しく教えて。
- ・休日出勤すると代休を取っても超勤時間に加えられ、限度枠を超えてしまい、それ以上超勤できなくなる。休日出勤をやりやすくすべきだ。
- ・研究員・技術員の未認定問題の救済を考えて欲しい。
- ・研究員・技術員認定問題について、機構に約束違反との認識があるのなら、もっと強く攻めるべき。
- ・旧サイクル機構での賃金差別是正を取り上げて欲しい。旧原研の平均までアップして欲しい。
- ・昇給・昇格差別の是正で約80名が5級に昇格したとのことだが、これは全て旧サイクル機構の話なのか？旧原研からはこういった差別是正の成果がはあったのか？

- ・任期付職員の数・割合はどうなっているのか？任期付職員にも組合へ加入してもらわないと。又、任期付職員の増加に従って、組合としての要求も変えていく必要があるかも知れない。
- ・人事評価制度による継続雇用者の更新拒否問題について、議案書の中でこれからどう行動するのか明確にすべき。
- ・現在の定年後再雇用制度については、長年勤続してきた者に対する敬意が感じられない。

#### 【職場の問題について】

- ・「自己研鑽」は大丈夫なのか？事故や帰宅時の災害などで不利益を被るのではないか？
- ・再雇用嘱託の人事評価はとんでもない話だ。ただでさえ毎月の給与が職員時の1/3になっているところに、人事評価で賞与に反映するなどという話はおかしい。理事は、人事評価をされてその結果を給与等に反映されているのか？
- ・人事評価制度で評価補助者が5級から6級に変わったとのことだが、組合員が課長代理などの職位の場合、評価補助者になることは特に問題ないのか？
- ・もんじゅをどう考えるか。労組の方針は？議論する場を作って検討すべきでは。
- ・宿舍貸与に関して、新入職員が入る寮はどうやって決められているのか。勤務地が原科研なのに箕輪寮に住まされて、徒歩で通勤している人がいる。
- ・技術開発協力員という名の出向受入問題について、機構内で多数行われている事なので、広げると収拾がつかなくなる。首を突っ込みすぎたのではないか？

#### 【組織強化について】

- ・組合員の増減はどうなっているか。
- ・原子力ユニオンからの移籍の状況はどうなっているか。
- ・組合の加入・脱退状況はどうなっているのか？旧サイクル職場から原研労組へ移る人はどれくらいいるのか？
- ・組織拡大がとても厳しい。労組の意義付けとか、メリットが分からないと難しい。非組の人でも何かあったときは労組に助けを求めてくる。わかってもらうのは話術だ。最初は機械的でよい。自分が入っている理由を話す。
- ・新人説明会でお弁当を提供して少しは加入してくれる人がいたらいいが、原子力ユニオンは寮へ行って勧誘活動をしていると聞いた。そういった困り込みをされると加入してくれる新人の数にかなり差が出るのではないか？

## 【財政方針について】

- ・組合費の定年前1年間の免除をやめて、半額化するのは仕方ないのでは。
- ・執行委員の行動費を減額して、持ち出しになったら引き受け手がなくなるのでは。
- ・行動費を1万円に減額したら、やる人がいなくなる。上げないとやる人がいなくなるから中執は上げるべきだ。支部は仕方ないから、支部の下げた分を中執にまわしたらどうか。
- ・組合財政が厳しいのか。組合書記が交代すると余裕ができるのか。組合書記は、専従をやめて派遣にしたらどうか。9時から17時半までいなくても良いのではないか。コストを言うなら専従でなくても良い。理想と現実を見て考えるべきで、組合員が減り続けたら専従は雇えない。
- ・定年1年前の人は沢山貰っている(高賃金)だろう。免除はしなくてよいのでは。半額でなく、普通でよい。
- ・定年前1年間の組合費免除制度の廃止について、あまりにも説明不足。もし財政上の問題であるなら組合員全員が負担すべき。
- ・特法連、科労協の分担金が意外と高い。外部との付き合いもあるのでやめるのは難しいだろうが、組合財政が厳しい時だけに負担が大きいと思う。
- ・中執の行動費の減額については反対。わずかにそんなところを削るぐらいなら、闘争資金を取り崩した方がいいと思う。

## 【その他】

- ・7月1日から、5級から技術副主幹を飛び越えて課長代理になったのですが、目いっぱい超勤で仕事をこなしている職場なので、超勤手当が付かなくなり10年前の手取りに戻った状態です。出来るものなら組合費の軽減申請をしたいぐらいの急減です。
- ・議案書と関係ないのだが、退勤時の南門の混雑を何とかしてもらえないのか。J-PARC関係で人が増えていて混雑気味で、特に水曜日はどうしようもない状態だ。職員と業者さんで左右に分かれているのを、どちらでも通れる様にして欲しい。
- ・とにかく原科研の渋滞をどうにかして欲しい。正門をでるまでに30分以上かかることもある。機構は、北門なりJ-PARC門なりを開けるといことは考えていないのか？

## 投稿欄

私は最近、中央労金から住宅ローンを借りた一組合員です。その経験から、労金の良さが分かってきたので、あゆみ速報を利用して頂いて、皆さんにもお教えします。(以下の内容は個人的に調べたものです。私は中央労金の回し者ではないので、正確な情報は、是非、中央労金へ)

## 新入職員の皆様、組合加入を検討されていますか？

もし、検討されている方で、自動車ローンなどの利用を考えておられる方は、早めに参加するととっても得です。

## 組合に加入して中央労金の自動車ローンを使おう。

## 300万円借りると月々5,000円も得！！

中央労金のローンは自動車、教育、住宅など、無担保ローン、不動産担保ローンがあります。これらの中で、**新入職員の方々にとって最大のメリット**があるのは**自動車ローン**でしょう。なぜならば、普通の銀行などでは、新入職員の方々はなかなかお金を貸してもらえません。しかし、中央労金の場合、組合に加入しているということで、信用してもらうことができ、新入職員の方々も一年目から低い金利でローンを組むことができます。すでに、高い金利でローンを組んでいる方も、借り換えもできるそうです。是非、ご活用下さい。その金利も、どの金融機関よりも低くなっていて、年2.4%(固定金利：2009年8月6日調べ)となっています。金利ってそんなに大事でしょうか？はい、とても大事です。例えば大手銀行では大体6%くらいの金利ですが、300万円借り入れて5年返済だと金利6%では月々の返済額は57,998円。一方、中央労金では53,110円です。月の返済額が5,000円程度異なります。総返済額は30万円近く差が出ることとなります。

## 住宅ローンはどこから借りますか？

新入職員でない方々にとっても金利が低いというのは非常に大きなメリットです。すでに、住宅ローンを検討されている方々は調べられているかもしれませんが、変動も固定もどちらでも中央労金はトップの低金利です。他の金融機関でも、優遇を使うことで中央労金と同等の金利も見られますが、それは変動金利だけであったり、一部の固定金利だけであったりします。将来、金利が変動することを考えると、途中で変動から固定へあるいは固定から変動へ代えたりするかもしれません。中央労金は変動から固定まで、どの金利も低く設定されています。車よりも高額な住宅ローンこそ、低金利で、将来まで有利な、中央労金の不動産担保ローンを使いませんか？組合員であるメリットを使いましょう。